

# RALLY GUIDE 1



28 - 31 May

RALLY-JAPAN.JP



# WRC FORUM8 RALLY JAPAN 2026







## ラリージャパンは環境に配慮した持続可能な大会運営を目指します



### ラリージャパン2026環境政策

ラリージャパン2026実行委員会は、FIA世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2026の開催に際して、環境保全の必要性を認識し、その責任を果たすため環境負荷の把握、最小化に取り組みます。また、関係者と環境配慮の価値観を共有し、意識向上にも努めます。

私たちは、以下のマニフェストを厳守し、環境に配慮した持続可能な大会運営を目指します。

#### 1. 國際及び国内の法的枠組みに従い環境要件の遵守に努めます。

#### 2. 関係者とともに、環境に配慮した取組を推進します。

##### (1) 環境にやさしい大会づくり

- ・大会で使用するエネルギーは、積極的にクリーンエネルギーを活用します。
- ・大会で発生する廃棄物を可能な限り抑えるとともに、効果的な分別や処理を実施し、リサイクルとリユースを推進します。
- ・観客等にゴミの分別や持ち帰りの協力を適切に案内します。
- ・環境に影響を及ぼす排水は適切に回収・処理します。また水の使用を最小限に抑えます。
- ・サプライヤーと連携し、環境に配慮した持続可能な調達を目指します。
- ・大会運営で使用する資材は、積極的に環境配慮素材を活用します。
- ・実行委員会メンバー及び関係者（サプライヤー、メディア関係者、観客等）に対し、公共交通機関の利用及び乗り合いを推奨します。
- ・大会全体の炭素排出量を測定するとともに発生要因等を分析し、2030年までにカーボンニュートラルを目指します。

##### (2) 山林保全

- ・この地域では長年にわたり、人の営みにより森林保全に努めてきたため、林道等を活用したラリー競技を開催することができます。この競技を通じて、山村の魅力を国内外に発信し、森林が果たす役割を伝えています。
- ・定期的な環境調査を実施し、動植物の生態系環境へ影響を与えないように努めます。

##### (3) 子どもたちへの教育

- ・小中学生等に、FIA世界ラリー選手権を題材とした持続可能な社会について考える機会を作ります。

#### 3. FIA環境認証プログラムに照らし合わせて私たちが定めた環境目標と環境政策を年に1回適切に評価・管理し、継続的に改善するために必要な措置を講じます。

2026年1月  
太田 稔彦  
ラリージャパン2026実行委員会会長



### 参加者の皆様へ - 環境に配慮してください



土壤汚染を避けるため、以下の対策を講じる必要があります。

- 車両と発電機の下には必ずマットを敷くこと。
- 主催者の規定に従って部品を洗浄すること。
- 危険な液体容器（燃料ドラム、キャニスターなど）の下にこぼれ防止トレイを置くこと。



無駄な水の使用は避けること。



廃棄物は透明なゴミ袋を使用し、規則に従って適切に分別すること。

## 過去の優勝者

Rally Japan 2004 to 2025

Year	Host City	Winner	Car
2004	Obihiro/Hokkaido	P.Solberg/P.Mills	Subaru Impreza WRC 2004
2005	Obihiro/Hokkaido	M.Grönholm/T.Rautiainen	Peugeot 307 WRC
2006	Obihiro/Hokkaido	S.Loeb/D.Elena	Citroën Xsala WRC
2007	Obihiro/Hokkaido	M.Hirvonen/J.Lehtinen	Ford Focus WRC
2008	Sapporo/Hokkaido	M.Hirvonen/J.Lehtinen	Ford Focus WRC
2010	Sapporo/Hokkaido	S.Ogier/J.Ingrassia	Citroën C4 WRC

**2022 Aichi/Gifu**



**T.Neuville/M.Wydaeghe**



**Hyundai i20N Rally1**



**2023 Aichi/Gifu**



**E.Evans/S.Martin**



**Toyota GR Yaris Rally1**



**2024 Aichi/Gifu**



**E.Evans/S.Martin**



**Toyota GR Yaris Rally1**



**2025 Aichi/Gifu**



**S.Ogier/V.Landais**



**Toyota GR Yaris Rally1**



## CONTENTS

<b>1. ようこそ</b>	<b>6</b>	
<b>2. 連絡先</b>	<b>7</b>	
2.1 常設の連絡先	7	8.2.1 自動車保険(必須) 18
2.2 主要オフィシャル	7	8.2.2 保険加入について 18
2.3 大会本部(ラリーHQ)	7	8.2.3 商業総合賠償責任保険 18
2.4 ラリー競技事務局 / ウェルカムセンター	7	8.2.4 第三者賠償責任保険 19
2.5 メディアの連絡先	7	8.2.5 補償の制限 19
<b>3. プログラムと重要な締切日</b>	<b>8</b>	8.2.6 日本登録車両の自動車保険 19
3.1 大会前のスケジュール	8	8.2.7 レンタカー 19
3.2 大会期間中のスケジュール (JST = +7h for CEST)	8	8.2.8 事故の報告 19
3.3 ラリーHQ、メディアセンター、ウェルカムセンターの開場時間	10	8.2.9 主催者の責任免除 19
<b>4. エントリー詳細</b>	<b>11</b>	8.3 日本における運転に関する条件 19
4.1 FIA タイトル- WRC	11	<b>9. ヘリコプター</b> 20
4.2 エントリーの応募基準と締切日	11	9.1 登録プロセス 20
4.3 参加受理台数	11	9.2 ヘリコプターサプライヤー 21
4.4 クラス- FIA WRCカテゴリー	12	9.3 ドローン(無人航空機) 21
4.5 ナショナル/リージョナル車両	13	<b>10. ホスピタリティのご提供</b> 21
4.6 エントリーフィー/エントリーパッケージ	13	<b>11. 宿泊手配</b> 21
4.6.1 マニュファクチャラー、その他のWRC車両、 およびサポート選手権の出場車両	13	<b>12. メディア</b> 21
4.6.2 ノンプライオリティ参加者	13	12.1 大会前の連絡先 21
4.6.3 ノンプライオリティ参加者のエントリーパッケージ	13	12.2 FIAパーマメントパス所持者 21
4.6.4 追加費用(全クラス対象)消費税込み	13	12.3 國際的な出版物、フォトグラファー、ラジオおよびインターネットメディア 22
4.6.5 コンペティターラウンジ(サービスパーク南)	14	12.4 テレビ 22
4.7 プライベートテスト	14	12.5 国内出版物、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ局 22
<b>5. サービスパーク</b>	<b>14</b>	<b>13. 医療・安全サービス</b> 22
5.1 サービスパーク情報	14	13.1 緊急電話番号 22
5.2 サービスパークの施設	14	13.2 医療サービス 22
5.3 サービススペース及び場所の要望	15	13.3 牽引サービス 22
5.4 環境対応のためのリサイクル及びゴミの回収	15	13.4 薬局(サービスパーク近隣のドラッグストア) 23
5.5 サービスパークへのアクセス	16	<b>14. 便利な情報</b> 23
<b>6. 無線</b>	<b>16</b>	14.1 空港 - 中部国際空港(NGO) 23
<b>7. 燃料/タイヤ</b>	<b>16</b>	14.2 電車 23
7.1 FIA 燃料	16	14.3 タイムゾーン 23
7.2 FIA燃料のオーダー手順	16	14.4 日の出/日没 23
7.3 給油	16	14.5 天気(5月下旬 - 豊田市) 23
7.4 リモート給油ゾーン	16	14.6 通貨 23
7.5 安全燃料タンク	17	14.7 税金 23
7.6 FIA燃料サンプルカップリング	17	14.8 チップ 23
7.7 タイヤ(路面:舗装路)	17	14.9 電気 24
<b>8. 車両とパーツの輸入/日本での運転</b>	<b>17</b>	14.10 携帯電話 24
8.1 外国登録車両の国内公道における運転	17	14.11 大使館 24
8.2 車両規制と保険	18	14.12 査証 24

本ラリーガイドは情報提供を目的としたものであり、法的・規則的な拘束力はありません。内容は常に変更される場合があります。正確な情報は特別規則書や公式通知を参照ください。

## 1. ようこそ

「フォーラムエイト・ラリージャパン2026」の開催にあたり、多くの関係者の皆様に御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

愛知・岐阜での開催も今年は5年目となり、再びこの地に世界最高峰の舞台を迎えることを、大会関係者一同、大変誇りに感じております。

今大会では、春に美しい藤の花を咲かせる豊田市藤岡地区にスーパースペシャルステージを設けるほか、秋の紅葉で親しまれる香嵐渓のある豊田市足助地区に新たなステージを設定しました。地域の皆様によって大切に守られてきた美しい里山を舞台に、世界トップレベルの選手とチームの皆様による迫力ある戦いが繰り広げられることを、心から嬉しく思っております。

今大会も、昨年に引き続き「体感するラリー」を大会コンセプトとして掲げ、サービスパークにおけるコンテンツの充実や、リエゾン区間での応援強化に取り組み、さまざまな場面でラリーの魅力を体感していただける大会を目指していきます。

また、選手及びチームの皆様が安心して競技に臨めるよう、万全の安全対策のもと、円滑な大会運営に努めてまいりますので、多くの皆様の御参加を心よりお待ちしています。



太田 稔彦  
ラリージャパン2026  
実行委員会会長  
豊田市長

FIA世界ラリー選手権(WRC)の開催イベント『フォーラムエイト・ラリージャパン2026』の開催を、心よりお慶び申し上げます。

主催者を代表し、本大会の実現に向け、愛知県及び岐阜県内の5市1町をはじめとする地域社会の皆様に、変わらぬご理解と多大なるご協力を賜りましたこと、謹んで御礼申し上げます。

ラリーは、公道においてドライバーとマシンが限界に挑戦する、まさに壯観なモータースポーツです。運転免許をお持ちの方なら誰でも車を操作できますが、ラリーカーの運転は全く別の次元で行われます。ドライバーとマシンが一体となり、市販車をベースにした車両から最大限の性能を引き出し、スピード、精度、耐久性を追求する競技です。ラリーに内在する独特の緊張感と躍動感は、他のモータースポーツにはない独特の魅力を放っています。まさにこうした過酷な「道」こそが、将来に向けてより良く、より安全な自動車の開発に貢献しているのです。

2023年から2024年にかけては豊田スタジアムでスペシャルステージが開催され、2025年には豊田市中心部でステージが行われました。本年は名古屋市が新たな開催都市として加わり、より華やかで多様性に富んだプログラムを実現いたします。さらに、開催時期を5月下旬に移すことで、初夏の気候のもと、より快適で楽しい観戦体験をお約束いたします。

本大会の開催は、日本全国の多くの関係者の皆様、出場チーム、スタッフ、そして献身的なボランティアの皆様の多大なご支援によって実現いたしました。この場を借りて、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

FIA世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2026が、より多くの方々にモータースポーツの興奮と情熱を体験する機会となりますよう、心より願っております。大会期間中、皆様の温かいご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。



鈴木 章  
ラリージャパン2026  
競技組織委員長  
TMS会長

## 2. 連絡先

### 2.1 常設の連絡先

#### ラリージャパン2026実行委員会事務局 豊田市 ラリーまちづくり推進課

471-8501 愛知県豊田市西町3-60

Tel: 0565 34 6950 Fax: 0565 32 9779

#### ラリー競技事務局NPO法人MOSCO

471-0025 愛知県豊田市西町1-200

Tel: 0565 41 3316 Fax: 0565 41 3319

電子メール [info2026@rally-japan.jp](mailto:info2026@rally-japan.jp)  
 \*ホスピタリティと宿泊のサポート  
[entry@rally-japan.jp](mailto:entry@rally-japan.jp)  
 \*競技者問い合わせ窓口

ウェブサイト <https://rally-japan.jp/>  
 X: @WRC\_RallyJapan  
 フェイスブック @2020rallyjapan  
 インスタグラム rally\_japan

### 2.2 主要オフィシャル

実行委員会事務局長

中神 泰次

[yasuji-nakagami@rally-japan.jp](mailto:yasuji-nakagami@rally-japan.jp)

実行委員会事務局次長

高島 圭太

[keita-takashima@rally-japan.jp](mailto:keita-takashima@rally-japan.jp)

紀岡 秀征

[hideyuki-kioka@rally-japan.jp](mailto:hideyuki-kioka@rally-japan.jp)

ラリーダイレクター

高桑 春雄

[takakuwa@n-mosco.com](mailto:takakuwa@n-mosco.com)

競技長

嘉屋 賢二

[kaya@n-mosco.com](mailto:kaya@n-mosco.com)

競技事務局長

高橋 浩司

[k-takahashi@rally-japan.jp](mailto:k-takahashi@rally-japan.jp)

ロジスティクスマネージャー

高先 伸枝

[n-takasaki@rally-japan.jp](mailto:n-takasaki@rally-japan.jp)

サービスパークマネージャー

川田 輝

[a-kawada@rally-japan.jp](mailto:a-kawada@rally-japan.jp)

### 2.3 大会本部(ラリーHQ) スカイホール豊田

スカイホール豊田

〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20

Tel: 0565 31 0451 (5月23日～6月1日)

ウェブサイト: <https://www.toyota-taikyo.or.jp>

大会本部は5月23日(土)から6月1日(月)まで開設されます。

オープン時間は3.3をご確認ください。

### 2.4 ラリー競技事務局/ ウェルカムセンター

MOSCO事務所

〒471-0025 愛知県豊田市西町1-200 豊田参合館2F

\*ウェルカムセンターでは、参加確認（アドミニステレーティブチェック）前にチームおよびサプライヤーに必要な駐車許可証とクレデンシャルを事前に提供します。また、イベント期間中はゲストおよびマーシャル向けのクレデンシャルと駐車許可証も提供します。ご要望を事前に必ず大会事務局へお伝えください。

### 2.5 メディアの連絡先

スヴェン・グッド, FIA メディアデレゲート

[sgood@fia.com](mailto:sgood@fia.com)

三浦正人, ナショナルプレスオフィサー

[masato-miura@rally-japan.jp](mailto:masato-miura@rally-japan.jp)

### 3. プログラムと重要な締切日

#### 3.1 大会前のスケジュール

1月28日水曜日
ラリーガイド1発行 - website
3月10日火曜日
ヘリコプター登録締切
3月12日木曜日
特別規則書発行 - デジタル掲示板(Sportity)
3月19日木曜日
ハンコックタイヤ・オーダー締切
FIA燃料オーダー締切
3月28日土曜日
エントリー受付開始
3月30日月曜日
メディア申請受付開始
4月18日土曜日
臨時運行許可証申請締切
4月28日火曜日
エントリー締切 (23:59 CEST)
レッキのみの参加申請締切
サービスパークのオーダー及び場所の要望締切 / 主催者保険の申請締切
4月30日木曜日
ラリーガイド2発行 - website
5月5日火曜日
エントリーリスト発行 - デジタル掲示板(Sportity)
5月11日月曜日
ナショナルプレスオフィサーへのメディア申請締切(国内メディア)
5月14日木曜日
チーム代表者の登録締切
ノンプライオリティ参加者のシェイクダウン登録締切
オンボードカメラの申請締切
5月18日月曜日
FIAメディアデレゲートへのメディア申請締切(国際メディア)

#### 3.2 大会期間中のスケジュール (JST = +7h for CEST)

5月23日土曜日
12:00 - 20:00 サービスパーク(東) オープン(P1) 豊田スタジアム
15:00 - 20:00 サービスパーク(南)オープン(プライオリティドライバー) 豊田スタジアム
5月24日日曜日
7:00 - サービスパークオープン(全参加者) 豊田スタジアム
15:00 - 19:00 プライベートテスト参加者向け臨時運行許可証配布 ラリーHQ

5月25日月曜日		
9:00 - 15:00	プライベートテスト	豊田市池田線(鞍ヶ池)
9:00 - 19:00	参加確認(時間指定による)	ラリーHQ
5月26日火曜日		
6:00 - 17:30	レッキ1日目	
5月27日水曜日		
7:30 - 18:30	レッキ2日目	
12:00	ルートノートクルーの登録締切日(ラリー1/2のみ)	ラリーHQ
13:00 - 16:00	救出訓練	スカイホール豊田
14:00 -	車検・コンポーネントのシーリング(P1以外)	豊田スタジアムB2 車検場
15:00 - 18:30	ラリー車両用FIAセーフティラッキングデバイスの配布	SASオフィス - サービスパーク
16:00 -	ラリー1車両のコンポーネントシーリング	チームのサービスペイ
14:30 - 15:00	タバードメディアセーフティブリーフィング	豊田スタジアムB2 ミーティングルーム
16:00	WRCチームマネージャーミーティング(招待者のみ)	ラリーHQ
17:00	WRCプロモーター主催ドライバーおよびコドライバー写真撮影(2026年に初出場するプライオリティドライバー全員必須。ヘルメットとオーバーオール着用)	豊田スタジアムB1ラウンジ
18:30	ドライバー向け安全ブリーフィング - 今年初めてWRCCに参加するクルーのみ	豊田スタジアムB2 ミーティングルーム
20:00	シェイクダウンのスタートリスト発表 セレモニアルスタートのスタートリスト発表	デジタル掲示板
5月28日木曜日		
8:01 - 9:45	シェイクダウン - P1及びノミネートされたクルー	鞍ヶ池
10:01 - 11:00	シェイクダウン - P2とP3ドライバー	鞍ヶ池
11:01 - 12:30	シェイクダウン - P1以外の全選手	鞍ヶ池
TBA	FIA WRCメディアペ恩	TBA
TBA	オートグラフセッション	TBA
17:00	ヘリコプターパイロットブリーフィング	ラリーHQ
17:00 - 17:45	FIAミートザクルー - 招待ドライバー・コドライバー及びチーム代表者	名古屋
17:30	セレモニアルスタート	名古屋
18:00	セクション1スタートリスト発行	デジタル掲示板
5月29日金曜日		
6:38	セクション1スタート	豊田スタジアム
19:00 - 19:30	FIAミートザクルー	豊田スタジアム・ファンゾーン
20:00	セクション3スタートリスト発行	デジタル掲示板
5月30日土曜日		
6:15	セクション3スタート	豊田スタジアム
18:30 - 19:00	FIAミートザクルー - マニュファクチーム代表及びトップ3ドライバー	豊田スタジアム・ファンゾーン
21:00	セクション6スタートリスト発行	デジタル掲示板

5月31日日曜日

6:51	セクション6スタート	豊田スタジアム
14:15	ウルフ・パワーステージ	三河湖
15:15	パワーステージ表彰	下山保健福祉センターまどいの丘
16:30	表彰式	豊田スタジアム
17:00	再車検	豊田スタジアムB2車検場
15:00 - 20:00	臨時運行許可証返却	コンペティターレセプション (サービスパーク)
17:30 - 19:00	FIAセーフティトラッキングデバイス返却	SASオフィス (サービスパーク)
19:00	暫定結果発表	デジタル掲示板

3.3 ラリーHQ、メディアセンター、ウェルカムセンターの開場時間

日付	曜日	ウェルカムセンター	ラリーHQ	メディア受付デスク	メディアセンター
5/23	土	09:00-17:00	09:00-18:00		
5/24	日	09:00-17:00	09:00-19:00		
5/25	月	09:00-17:00	09:00-19:00		
5/26	火	09:00-17:00	08:00-19:00	14:00-18:00	14:00-18:00
5/27	水	08:30-17:00	08:00-19:00	08:00-18:00	08:00-20:00
5/28	木	09:00-17:00	08:00-19:00	08:00-18:00	07:00-*
5/29	金	09:00-17:00	07:00-19:00	-	07:00-*
5/30	土	09:00-17:00	07:00-19:00	-	07:00-*
5/31	日	09:00-12:00	07:00-18:00	-	07:00-*
6/1	月	-	09:00-12:00	-	-

\* 最終利用者の退出まで

## 4. エントリー詳細

### 4.1 FIA タイトル- WRC

FIA 世界選手権ドライバー＆コドライバー  
 FIA 世界選手権マニュファクチャラー  
 FIA 世界選手権チーム  
 FIA WRC2選手権ドライバー＆コドライバー  
 FIA WRCチャレンジャー選手権ドライバー＆コドライバー  
 FIA WRC2選手権チーム  
 FIA WRCマスターズカップ ドライバー＆コドライバー  
 FIA WRC3選手権ドライバー＆コドライバー

### 4.2 エントリーの応募基準と締切日

FORUM8ラリージャパン2026への参加を希望される方は、FIAウェブサイト(<https://registration.fia.com/wrcjpn>)にて入手可能な公式デジタルエントリーフォームを、エントリー締切日までに必要事項を全てご記入の上、ご提出ください。デジタルフォームの送信をもって、競技者は本競技の規則および規定を遵守することを約束するものとします。参加者は、参加確認(Administrative Checks)の際にエントリーフォームに署名いただきます。国内クラス(national classes)へのエントリーをご希望の方は、エントリー受付開始後、ラリー公式サイト(<https://rally-japan.jp/rj/competitors/document/Competitors>)で別途用意されるエントリーフォームをご利用ください。全てのエントリーフォームは、エントリー締切日である4月28日(火)23時59分(中央ヨーロッパ時間、日本時間-7時間)までに必着となります。

### 4.3 参加受理台数

エントリーの上限は45台です。45台を超えるエントリーがあった場合、主催者はこの数を増やすか、優先権のないドライバーの中からどのエントリーを受け入れるかを決定する権利を留保します。車両は、2026年FIA WRC競技規則第12.4条に示される通り、クラス(およびグループ)に分けられます。ナショナルクラスの分類については、第4.6条を参照してください。

## 4.4 クラス- FIA WRCカテゴリー

2026年FIA世界ラリー選手権競技規則 第12.4条 車両のクラス

CLASSES	GROUPS	
RC1	World Rally Cars: 1.6 T engine	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Rally1 Cars complying with the 2026 Appendix J, Art. 262</li> <li>– World Rally Cars, complying with the 2021 Appendix J, Art. 255A, when the driver has not scored points for a WRC Manufacturer Team in the previous five (5) seasons (not a WRC Team as defined in Art. 5.3) and when fitted with a restrictor complying with Art. 255A-334 except for the following points: <ul style="list-style-type: none"> <li>a) The maximum internal diameter of the restrictor is 33.7mm,</li> <li>b) The maximum external diameter of the restrictor at its narrowest point must be less than 39.7mm, and must be maintained over a distance of 5mm to each side.</li> </ul> </li> </ul>
RC2	Group Rally2 Group Rally2Kit	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group Rally2 cars conforming to the 2026 Appendix J, Art. 261.</li> <li>– Car fitted with Rally2 Kit cars confirming to the 2026 Appendix J, Art. 260E</li> </ul>
RGT	RGT Cars	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group RGT cars conforming to the 2019 Appendix J, Art. 256.</li> <li>– Group RGT cars conforming to the 2026 Appendix J, Art. 256</li> </ul>
RC3	Rally3 (atmo over 1390cc and up to 2000 cc and turbo over 927cc and 1620cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group Rally3 cars homologated from 01/01/2021 and conforming to the 2026 Appendix J, Art.260</li> </ul>
RC4	Rally4 (atmo over 1390cc and up to 2000cc and turbo over 927cc and up to 1333cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group Rally4 cars homologated from 01/01/2019 and conforming to the 2026 Appendix J, Art. 260</li> <li>– Group R2 cars homologated before 31/12/2018 and conforming to the 2018 Appendix J, Art. 260</li> </ul>
	R3 (atmo / over 1600cc and up to 2000cc and turbo over 1067cc and up to 1333cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group R cars homologated before 31/12/2019 and conforming to the 2019 Appendix J, Art. 260</li> </ul>
	R3 (turbo / up to 1620cc / nominal)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group R cars homologated before 31/12/2019 and conforming to the 2019 Appendix J, Art. 260D</li> </ul>
RC5	Rally5 (atmo up to 1600cc and turbo up to 1333cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group Rally5 cars homologated from 01/01/19 and conforming to the 2026 Appendix J, Art. 260</li> </ul>
	Rally5-Kit (atmo or turbo up to 1600cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group Rally5-Kit cars homologated from 01/01/2024 and conforming to the 2026 Appendix J, Art. 260B</li> </ul>
	Rally5 (atmo up to 1600cc and turbo up to 1067cc)	<ul style="list-style-type: none"> <li>– Group R1 cars homologated before 31/12/2018 and conforming to the 2018 Appendix J, Art. 260</li> </ul>

## 4.5 ナショナル/リージョナル車両

日本自動車連盟(JAF)により承認され、国際自動車連盟(FIA)に提案された車両は、FIA世界ラリー選手権(WRC)競技規則第12.3条の規定に基づきエントリーが可能です。ただし、これらの車両は、2026年FIA国際競技規則附則J第253条に規定される安全要件を完全に満たすとともに、2026年FIA WRC競技規則に規定されるその他の適用される規定および手続き(タイヤ、再スタート規定など)を全て遵守しなければなりません。

クラス	排気量	グループ詳細
JR1	2500cc を超える車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Group NR4 2000cc 超</li> <li>- AP4/JP4 2500cc 超</li> <li>- 2500cc を超える JAF 規則 RJ および日本で認可された APRC 車両</li> </ul>
JR2	1600cc を超え 2500cc 以下の車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>- JAF 規定 RJ および JP4 2WD 車 (自然吸気 1600cc を超え 2500cc 以下。ターボ車 941cc* を超え 1600cc* 以下 / * 公称値)</li> <li>- 日本国内で承認された APRC 車両</li> </ul>
JR3	1600cc 以下の車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>- JAF 規定 RJ および日本国内で承認された APRC 車両 (自然吸気 1600cc 以下、ターボ車は 941cc* 以下 / * 公称値)</li> </ul>

## 4.6 エントリーフィー/エントリーパッケージ

### 4.6.1 マニュファクチャラー、その他のWRC車両、およびサポート選手権の出場車両

メーカー、WRCチーム、および全WRCサポート選手権(WRC2、WRC3)の競技者に対するエントリー料は、2026年FIA WRC競技規則付録VIIに規定される通りとする。ただし、ラリージャパン主催者は、WRCプロモーターとの契約に基づき、FIA WRC選手権に登録された全優先ドライバーのエントリー料を免除するものとする。

### 4.6.2 ノンプライオリティ参加者

A - ノンプライオリティ (RGT, RC4, RC5 and National/regional) 990,000JPY(消費税込み)

B - ノンプライオリティ (RGT, RC4, RC5 and National/regional) 770,000JPY(消費税込み)

AとBの相違点は、第4.6.3条のエントリーパッケージに記載されている。

### 4.6.3 ノンプライオリティ参加者のエントリーパッケージ

		Non-Priority A	Non-Priority B
車両プレート	サービス	1	1
	補助プレート	1	1
パス	ドライバー	2	2
	チーム	6	5
印刷物	チームゲスト	2	2
	ロードブックセット	3	2
	ルートマップ	3	2
サービススペース (幅 X 奥行き)	公式プログラム	5	3
	サービスパークのエリア	7.5m x 10m	6m x 6m

サービスパークのスペースが限られているため、追加のサービスエリアの要望は原則として受け付けません。スポンサーおよび企業パートナーは、エントリー締切後、別途協議することができます。

### 4.6.4 追加費用(全クラス対象)消費税込み

追加チームバス 22,000円 (最大2枚まで/1エントリー車両あたり)

追加チームゲストバス 22,000円

追加補助プレート 55,000円 (最大2枚まで/1エントリー車両あたり)

レッキのみの参加 220,000円 - 特別規則書を参照のこと

ルートノートクルー登録(P1/2のみ) 110,000円

## 4.6.5 コンペティターラウンジ(サービスパーク南)

豊田スタジアム南駐車場(サービスパーク南)における追加スペースのご要望にお応えできないため、チームおよびゲストの皆様が食事、休憩、スポンサー接待にご利用いただける共有コンペティターラウンジをご用意いたします。事前申請により入場タグを発行いたします。申請にはエントリーオーダーフォームの記入をお願いいたします。

オープン時間(変更の場合あり)

5月28日木曜日	10:00 to 16:00 (昼食)
5月29日金曜日	10:00 to 21:00 (昼食及び夕食)
5月30日土曜日	10:00 to 21:00 (昼食及び夕食)
5月31日日曜日	10:00 to 15:00 (昼食)

4日間通し券: 44,000円(税込) - エントリー車両1台につき5枚まで

1日券: 22,000円(税込)

## 4.7 プライベートテスト

プライベートテストを以下の内容で実施します。

日付: 2026年5月25日(月)

時間: 9:30 ~ 11:30 / 13:00 ~ 15:00

場所: 池田 - 鞍ヶ池、豊田市

参加資格: RC1クラスエントリー者を除く全競技者

参加費: 車両1台あたり99,000円(税込)

\*ステージのレッキ時間は以下の通り:

8:30 ~ 9:30 / 12:30 ~ 13:00 (ラリーカーでの試走可)

詳細及び参加申し込みはラリーガイド2をご参照ください。

# 5. サービスパーク

## 5.1 サービスパーク情報

サービスパークは豊田スタジアム駐車場に設置され、GPS座標は以下の通りです: N35 05 04.4 E137 10 15.4

住所: 〒471-0016 愛知県豊田市千石町7丁目2番地

サービスパークの最終レイアウト及び詳細については、追ってウェブサイトにてご案内いたします。

マニュファクチャラーチームは、5月23日(土)12:00よりサービスパークへのアクセスが可能です。

マニュファクチャラーチームを除くFIAプライオリティチームは、5月23日(土)15:00よりサービスパークへのアクセスが可能です。

ノンプライオリティ競技者は、5月24日(日)7:00よりサービスパークへアクセス可能です。

マニュファクチャラー及びその他の選手権競技者には、2026年FIA WRC競技規定に基づき指定スペースが割り当てられます。

5月23日(土)12:00より6月1日(月)12:00まで、サービスパークは24時間開放され、主催者による夜間警備が実施されます。ただし、5月23日(土)から27日(水)までの夜間20時以降は、歩行者用ゲートは閉鎖されます。20時以降の入退場が必要な場合は、車両用ゲートをご利用ください。

各日の最終サービスには、2026年FIA競技規則第59条に基づくフレキシブルサービスが適用されます。

5月31日(日)6時前のサービスエリア施設撤去は、サービスパーク内にラリー車両が通行していない時間帯に実施してください。ただし、当該チームエリアの境界内(いかなる交通レーンやチーム外部エリアも使用しない場合)でのみ撤去作業を行う場合はこの限りではありません。

## 5.2 サービスパークの施設

サービスパークにて以下のサービスを提供いたします(無料):

- ・公衆トイレ
- ・廃棄物回収
- ・常設照明(一部エリアに限ります)

以下の有料サービスは、ウェブサイト上の注文書にてお申し込みいただけます：

- ・専用トイレ(2026年FIA WRC規則書附則VIIに記載のトイレ数を超える場合、追加でお申し込みください)
- ・有害廃棄物回収
- ・追加警備サービス
- ・電源供給(電気:100V 60Hz)
- ・専用給水設備(サービスペイの位置により異なります)
- ・テント及び必要な什器備品

これらの有料サービスをご注文の際は、大会ウェブサイト上の「サービスパーク・ファシリティーズ・オーダーフォーム」をご利用ください。「サービスパーク・ファシリティーズ・オーダーフォーム」に記載のない項目につきましては、お問い合わせください。サービスパーク施設のご注文締切は4月28日(火)となります。締切後のご依頼・お申し込みにつきましては、追加料金が発生する場合がございます。

#### 注記:発電機について

-サービスパークへ発電機を持ち込むには、主催者を通じて消防署へ事前に申請が必要です。必ず発電機届出書をラリー事務局へご提出ください。締切:4月28日(火)

- 消防署の指示に従い、各発電機の隣には日本製消火器を1台設置してください。消火器は日本の基準に準拠した電気火災・油火災・一般火災対応の「ABC粉末消火器」とし、日本製製品をご用意ください。日本製以外の消火器は消防署が承認いたしません。
- 発電機の周囲には、少なくとも1メートルの空きスペースを確保してください。
- 発電機を覆うことは禁止されています。
- FIA環境認証のため、燃料や油が地面に漏れるのを防ぐため、発電機の下にシートを敷いてください。消防署の検査時にシートが敷かれておらず、主催者が対応を求められる場合、費用は参加者の負担となります。
- ガソリンの保管にあたっては、危険物の一時貯蔵取扱許可申請書の提出が必要となる場合があり、追加費用が発生します。主催者までお問い合わせください。<entry@rally-japan.jp>
- 発電機用軽油につきましては、主催者へお申し込みください。必要に応じて直接給油いたしますので、軽油の保管は行わないようお願ひいたします。

ラリー開催中は豊田市消防署による現地検査が実施されます。

## 5.3 サービススペース及び場所の要望

ロジスティクスの都合により、他チームとの共同サービスエリア利用を希望される出場者、ならびにサービスパーク施設のご利用が必要なチームは、サービスパーク・ファシリティーズ・オーダー・フォームに必要事項をご記入の上、主催者までご提出ください。

主催者は、すべてのチームのニーズにお応えできるよう、合理的な範囲で最大限の努力をいたします。

サービスパークのレイアウトが決定された後は、いかなる変更も承れません。スペースの制約により、2026年FIA WRC競技規則および特別規則書で定められた範囲を超える追加サービススペースのご要望には、原則としてお応えできません。(パートナー企業等につきましては、個別にご相談ください。)

## 5.4 環境対応のためのリサイクル及びゴミの回収

すべての参加者は環境保護の責任を負います。

- ゴミは主催者の指示に従い分別し、透明なごみ袋に入れて指定の場所へお持ちください。
- ラリーカーの下には、プラスチック製のマット(地面保護用)の使用が全参加者に義務付けられております。このマットは十分な強度を有し、油、燃料、冷却水、ブレーキ液、バッテリー液、廃水(車体部品洗浄水を含む)、その他の液体に対して不浸透性であることが必要です。
- 燃料漏れが確認された場合、チームはラリー開催中にユニットやテントの撤去を余儀なくされる場合がございます。
- サービスパーク内のコンクリート表面への穴あけは禁止されております。チームおよび競技者各位には、テントやその他の固定が必要な物品用の重りをご持参ください。
- 万一穴が開いた場合、主催者は当該区域を元の状態に復旧するための費用をチームに請求いたします。
- 追加およびオプションの施設については、ご要望に応じて、予約時にこれらのサービスの費用をお知らせいたします。これらのサービスを必要とするチームは、サービスパーク・ファシリティーズ・オーダーフォームにご記入ください。

## 5.5 サービスパークへのアクセス

サービス車両／補助車両プレートおよび主催者発行のレッキプレートの貼付車両のみがサービスパークへの入場を許可されます。サービスパーク内の駐車スペースは非常に限られておるため、ご自身のサービスペイ内に駐車スペースを確保できない場合は、川岸の指定駐車エリアへお停めください。  
車両にはボンネットに指定のステッカープレートを明示的に貼付し識別可能にしてください。ラリー終了までステッカーワークの剥離は禁止されております。サービス車両／補助車両プレートはエントリーパッケージに基づき発行されます。

## 6. 無線

日本における無線機の使用は厳しく規制されています。無線機を使用される方は、3月10日(火)18:00(日本時間)までにラリージャパン運営事務局<[entry@rally-japan.jp](mailto:entry@rally-japan.jp)>までご連絡ください。無線機の周波数、型番、送信出力などの仕様を明記してください。

## 7. 燃料／タイヤ

### 7.1 FIA 燃料

すべてのドライバーは、FIAが指定した供給業者から提供されるFIA燃料を使用しなければなりません。2026年FIA WRC競技規則第61条および第62条もご参照ください。

FIAが指定するサプライヤーはタル・エナジーズです。供給、給油サービス、燃料注文はソディフューエルが担当いたします。

環境および安全上の理由により、全競技者は指定給油ゾーンでのみ給油を行わなければなりません。サービスパーク内での給油は禁止されます(2026年FIA WRC競技規則第58条に詳細が記載されている場合を除き、缶、ドラム缶、その他類似の容器からの給油は認められません)。

・「50Lドラム」ライン：テスト目的およびシェイクダウン当日の朝、給油の公式開始前(燃料切り替え、キャリブレーション、技術検査のための最低量)に使用されます。

・「ポンプ給油」ライン：シェイクダウンからラリー終了まで、給油ゾーン(RZ)で配布される希望/計算量の燃料に対応します。

### 7.2 FIA燃料のオーダー手順

ウェブサイトで入手可能な燃料注文書は、2026年3月19日(木)までにメールにて[wrc@sodifuel.com](mailto:wrc@sodifuel.com)宛にお送りください。輸送状況に鑑み、参加者各位は燃料の予定注文量をできるだけ早くソディフューエル社へお知らせください。FIA燃料の価格は、1リットルあたり9.95ユーロ+消費税、50リットルドラム缶は497.5ユーロ+消費税となります。お支払いはクレジットカード決済または銀行振込による事前入金のみ承ります。振込明細書の写しは、注文締切日までにソディフューエルへご送付ください。

燃料注文手続きに関するご質問は、直接[wrc@sodifuel.com](mailto:wrc@sodifuel.com)までメールにて、または電話にてファイザ・マイヤール Faiza Maillard(+33 6 14 66 12 90)までお問い合わせください。

### 7.3 給油

FIA燃料は、ロードブックに記載されている指定給油ゾーン(RZ)でのみご利用いただけます(サービスパークおよび下記第7.4条に示される2つのリモート給油ゾーン)。

安全上の理由により、市販のポンプ燃料での給油は全車両に禁止されます。本ラリーでは、全車両がFIA燃料の使用が義務付けられます。

### 7.4 リモート給油ゾーン

以下の通り、2つの遠隔給油ゾーン(FIA燃料のみ)を設置する：

- ・5月29日(金)伊勢神トネルのSS2及びSS5終了後 [旭総合体育館駐車場](#)
- ・5月30日(土)SS8恵那及びSS10笠置山に続く [岐阜県恵那総合庁舎駐車場](#)

### 7.5 安全燃料タンク

すべての車両には、FIA国際競技規則付録J第253.14条に規定されるFIA公認の安全燃料タンクを装備しなければ

ならない。FIA技術リストNo.1も参照のこと。

[www.fia.com/regulation/category/761](http://www.fia.com/regulation/category/761)

[https://www.fia.com/homologations](http://www.fia.com/homologations)

燃料タンクには、FIAが規定する給油用カップリングを取り付けること(FIA WRC規則第62.3.2条)。

## 7.6 FIA燃料サンプルカップリング

FIA公認安全燃料タンクを装備した車両には、FIA燃料サンプルカップリングを取り付けること。FIA WRC規則第62.3.5条およびFIA技術リスト第5号を参照のこと。

## 7.7 タイヤ(路面:舗装路)

全競技者は、使用可能なタイヤに関する2026年WRC競技規則第13条を遵守すること。

FIAは2026年世界ラリー選手権のタイヤサプライヤーとして以下の企業を指名しました:

**Hankook Tyre & Technology Co.Ltd.,**

韓国 京畿道城南市盆唐区13494

[https://www.hankooktyre.com/global/en/home.html](http://www.hankooktyre.com/global/en/home.html)

**Mr. Manfred Sandbichler**

携帯電話: +49 15116222126 E-MAIL:[racing@hankook.com](mailto:racing@hankook.com)

**Mr. Steven Cho**

携帯電話: +82 1020032787 E-MAIL: [steven@hankook-competition.com](mailto:steven@hankook-competition.com)

四輪駆動車でご出場の全競技者は、ハンコック社提供のタイヤを使用ください。二輪駆動車につきましては、タイヤメーカーに制限はありませんが、2026年WRC競技規則第13.3.1条および第13.3.2条の規定を遵守する必要があります。RG車両につきましては、第13.4.1条および第13.4.2条を参照ください。

ハンコックタイヤのご注文は、遅くとも3月19日(木)までに、ラリージャパン公式サイトで入手可能な専用フォームにてお願ひいたします。

## 8. 車両とパーツの輸入／日本での運転

### 8.1 外国登録車両の国内公道における運転

日本国外で登録された競技車両、レッキ車両、サービス車両を運転するには、国土交通省(MLIT)が主催者を通じて発行する臨時運行許可(仮ナンバープレート)が必要となります。

仮ナンバープレート申請には、自動車登録証、車検証明書、自動車通関証明書、自動車保険手配書(必須)が必要となります。申請手続きには時間を要すため、必要書類の写しを4月17日(金)18:00(日本時間)までにご提出ください。必要書類のいずれかが不足している場合、主催者は仮ナンバープレートを準備できません。なお、仮ナンバープレート取得には別途費用が発生いたしますので、予めご了承ください。

また、日本国内での輸出入および輸送については、正確かつ迅速な対応を確保するため、必ずラリージャパン公式貨物代理店(下記参照)をご利用いただくよう、ご自身の貨物代理店にお伝えください。

(1) ATAカルネは、以下の物品にご利用いただけます:車両・工具・部品・タイヤ(イベント終了後に再輸出されるもの)、およびプロモーション物品。ATAカルネで輸入された全ての物品は、イベント終了後に再輸出される必要があります。一時的な使用であっても、禁制品の輸入は禁止されております。

(2) 船荷証券(SHIPPING INVOICE) - 船荷証券につきましては、ラリージャパン2026の公式貨物代理店である株式会社クリエイトランスまでお問い合わせください。

#### 重要

1) 高圧ガスボンベ(ガス充填ショックアブソーバーを含む)、その他の危険物、食品、食器類、医療用品の輸入をご希望の方は、特別な許可を取得する必要があります。なお、主催者側では必要な許可取得に関する一切の支援はいたしかねます。従いまして、これらの物品は輸入せず現地調達されることを強くお勧めいたします。主催者側では窒素ガス・アルゴンガスの販売、ならびに溶接機その他の機器のレンタルを手配いたします。

- 2) 海上コンテナは5月23日(土)にサービスパークへ搬入予定です。通関手続き及び陸上輸送に要する時間を考慮の上、速やかに海上貨物代理店を通じてコンテナ搬入の手配を貨物代理店へ依頼ください。
- 3) 海上コンテナの搬出は6月3日(水)を予定しております。6月3日(水)16時までに全ての搬出を完了させてください。
- 4) 船舶の遅延等による追加費用につきましては、主催者及び公式貨物代理店は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ラリー・ジャパンの海上輸送、航空輸送、および輸送に関するお問い合わせは、下記の公式貨物代理店までご連絡ください：

株式会社クリエイトランス  
 TEL: 050 7112 3202  
 E-mail: 森井慎一 <[shin@create-t.com](mailto:shin@create-t.com)>

## 8.2 車両規制と保険

### 8.2.1 自動車保険 (必須)

ラリージャパンの参加者で、ラリーカー、レッキカー、またはチーム車両が日本以外の国で登録されている場合、日本の道路交通法により、自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)への加入が義務付けられております。この自動車損害賠償責任保険は、日本の公道で走行するすべての車両(車両所有者または運転者)に対して法律で義務付けられている保険です。加えて、ラリーに参加する全ての車両は、ラリー開催期間中、有効な対人・対物賠償責任保険および個人傷害保険に加入している必要があります。

### 8.2.2 保険加入について

ラリージャパン事務局では、日本国外で登録されている競技者のラリーカー、レッキカー、チーム車両に対し、自動車損害賠償責任保険および自動車保険の手配をいたします。保険料および条件は車両およびドライバーの年齢によって異なります。本ラリー保険には、サービスパークへのレッカーサービスが含まれております。

保険申込書は、主催者ウェブサイト内の「競技者/書類」ページより入手可能です。

#### 自動車保険料

(期間:保険はプライベートテストからラリー終了までをカバーします)

運転者の年齢	レッキ車両	競技車両
全年齢	33,000円	500,000円
35歳以上	13,000円	190,000円
26 - 34歳	16,000円	230,000円
21 - 25歳	23,000円	340,000円

申込締切:4月17日(金)

\*本自動車保険は、ラリーカー、レッキカー、またはチーム車両の損傷または紛失には適用されません。

### 8.2.3 商業総合賠償責任保険

主催者はラリージャパン開催にあたり、事故当たり最大40億円の管理者賠償責任保険に加入しています。この保険は、主催者の管理下にない第三者である観客やゲストを対象としています。

### 8.2.4 第三者賠償責任保険

ラリーにおける第三者保険(スペシャルステージにおいても有効)は、競技車両にのみ適用されます。レッキ車両およびチーム車両は、主催者より発行されたナンバープレートその他の公式識別標識を装着している場合であっても、いかなる状況においてもラリーの公式参加者とはみなされません。従いまして、これらの車両はラリーの保険契約の対象外となり、車両所有者の単独責任となります。

## 8.2.5 補償の制限

主催者は、競技者による不正行為(ラリーの規則またはいかなる国の法律にも反する行為を含む)から生じるいかなる結果についても責任を負いません。さらに、エントリーを提出することにより、競技者、ドライバーまたは車両所有者は、本イベントに関して主催者に対するいかなる請求権または補償請求権も放棄するものとします。

## 8.2.6 日本登録車両の自動車保険

日本国内で登録された自動車には、以下の補償内容を最低限含む個人傷害保険および賠償責任保険の加入が義務付けられております。

- 1) 対人賠償責任保険: 無制限
- 2) 対物賠償責任保険: 20億円以上
- 3) 対人傷害保険: 無制限

日本国内で登録されたラリーカー向けの任意の第三者個人傷害・賠償責任保険は、ラリー運営事務局にて手配が可能です。この保険の補償内容は上記と同様となります。

## 8.2.7 レンタカー

主催者は、レンタカーカー会社から借り受けた車両(レッキ車およびチーム車両)に関する任意の第三者傷害保険および財産保険について、一切の責任を負いかねます。

## 8.2.8 事故の報告

ラリー開催中に事故が発生した場合、競技者または代理人は、直ちに競技長へ詳細な報告書(事故発生時刻、場所、状況、経緯、損傷車両・物品の写真、負傷者の有無、目撃者の氏名および連絡先)を提出しなければなりません。事故報告書はロードブックの最後に添付されております。

## 8.2.9 主催者の責任免除

ラリーへのエントリーをもって、すべての競技者(ドライバー、コドライバー、チーム代表者およびその他関係者)は、主催者に対する一切の責任追及権を放棄するものとします。万一事故が発生した場合、競技者は警察、消防署、ラリージャパン実行委員会、組織委員会ならびに損害保険会社の調査およびその他の対応に協力しなければなりません。

## 8.3 日本における運転に関する条件

日本において自動車を運転するには、以下のいずれかの免許証が必要です(道路交通法第64条及び第107条の2)。

1. 日本の運転免許証
2. 國際運転免許証(IDP)

日本において有効と認められる国際運転免許証(IDP)は、1949年ジュネーブ条約の締約国が同条約の規定に従って発行したものである場合に限ります。1969年ウィーン条約を含むその他の条約に基づく国際運転免許証は、1949年ジュネーブ条約の締約国によって発行された場合でも、日本国内での運転には無効となります。

[1949年9月19日ジュネーブ道路交通条約]:

[United Nations website](#)

[Japan Metropolitan Police Department website](#)

加えて、以下の条件を満たす必要があります:

- a) 国際運転免許証は発行日から1年間有効であり、日本入国日から1年間は当該免許証で運転が可能です。
- b) 日本に住民登録がある場合、再入国前に3ヶ月以上連續して海外に滞在している必要があります。(道路交通法 第107条の2)

### 3. 日本における有効な外国運転免許証

スイス、ドイツ、フランス、ベルギー、モナコ及び台湾の当局が発行した運転免許証は、以下の条件の下で日本において有効である:

- a) 適用される政令で定める機関による日本語訳が運転免許証に添付されていること。政令で定める機関は以下の通りです:

1. 免許証発行機関、外国等の運転免許証を発行する権限を有する行政機関その他の機関、または外国等の領事機関(外国運転免許証の発行機関、または日本にある外国の大連館、総領事館等)。
2. 日本自動車連盟(JAF)。

3. 日本台湾関係協会(台湾の免許証所持者の場合)。
  4. ドイツ自動車連盟(ADAC)(ドイツ免許証所持者の場合)
  5. 株式会社ZIPLUSb) 日本への入国日から1年未満であること。
- c) 道路交通法第107条の2に規定されるいわゆる「3か月ルール」に違反していないこと。

注記:ラリージャパン事務局は、皆様に代わってJAFへ日本語翻訳の申請を行うことが可能です。

費用:12,000円(翻訳料及び諸経費を含む)

申請締切:2026年4月10日(金曜日)

連絡先: [entry@rally-japan.jp](mailto:entry@rally-japan.jp)

日本自動車運転免許証翻訳文の有効期間は、運転免許証の有効期間と同じです。つまり、運転免許証の有効期限まで翻訳文をご利用いただけます。ただし、運転免許証の更新時や、住所変更など免許証に記載されている事項に変更があった場合には、再度翻訳文を取得する必要があります。

#### 4. 外国免許証の日本免許証への切り替え(第1種・第2種・第3種免許を除く)

原則として、日本の住民票をお持ちでない場合、運転免許証の切り替えはできません。ただし、フォーラムエイト・ラリージャパン2026に参加するクルー(ドライバーおよびコ・ドライバー)に限り、ラリージャパンによる日本運転免許証取得の支援対象となります。

2025年10月1日より、外国免許証の日本免許証への切り替え制度が厳格化され、短期滞在の観光客などの方々は原則として対象外となります。上記1、2、3のいずれにも該当しない国の免許証をお持ちの方で、ラリー参加のために日本免許証への切り替えが必要な場合は、在留資格認定証明書及び興行ビザの取得を前提に、お早めにご連絡ください。

連絡先: [entry@rally-japan.jp](mailto:entry@rally-japan.jp)

申請締切:3月15日(日曜日)

#### 参照リンク:

[Foreign Driver's License and International Driving Permits](#)

[Valid Driving License in Japan](#)

[Driving a Motor Vehicle in Japan](#)

[Traffic Rules](#)

[Rules of the Road](#)

[National Police Agency - Traffic Bureau](#)

## 9. ヘリコプター

### 9.1 登録プロセス

ラリー支援のため飛行する全てのヘリコプターは、主催者への登録が必須となります。ラリー空域を管理するための標準プロトコルが設けられ、登録済み航空機のみが当該空域での飛行を許可されます。ヘリコプターの登録料が課金されます。着陸地点とGPS座標の一覧(スペシャルステージおよびサービスパークを含む)は後日公開されます。全パイロットはパイロットブリーフィングへの出席が義務付けられます。

ヘリコプター登録の申請は、日本時間3月10日(火)18:00(UTC+9時間)をもって締め切られます。

連絡先: [entry@rally-japan.jp](mailto:entry@rally-japan.jp)

### 9.2 ヘリコプターサプライヤー

ラリー・ジャパンの推奨ヘリコプター供給業者は以下の通りです:

エアロトヨタ株式会社

担当:岩下一夫

[k-iwashita@aerotoyota.co.jp](mailto:k-iwashita@aerotoyota.co.jp)

セントラルヘリコプターサービス株式会社

担当:名取優一郎

[yuuichirou-natori@central-heli.co.jp](mailto:yuuichirou-natori@central-heli.co.jp)

## 9.3 ドローン(無人航空機)

日本の航空法に基づき、無人航空機を特定の空域で飛行させる場合、または国土交通大臣の許可または認可を必要とする特定の方法で飛行させる場合には、飛行許可・認可の手続きを経る必要があります。

適切な許可または認可を得ずに無人航空機を飛行させた場合、懲役または罰金に処せられる可能性があります。

<https://www.mlit.go.jp/koku/drone/en/>

## 10. ホスピタリティのご提供

ホスピタリティパッケージをご購入希望の場合は、PIA DAIMANI Hospitality Experience(PDHX/PIA)までお問い合わせください。

[info.pdhx@pia.co.jp](mailto:info.pdhx@pia.co.jp)

## 11. 宿泊手配

JTB三河支店は、本イベントの旅行手配及び現地手配代理店です。空港送迎、宿泊、レンタカー、食事、コーディネーター手配などをご提供しています。

\*宿泊費はエントリー料金に含まれております。

宿泊施設の予約をされる場合は、下記メールアドレス宛に、ご宿泊日程、部屋数、宿泊人数などの詳細をお送りください。

E-mail: [rally\\_travel@jtb.com](mailto:rally_travel@jtb.com)

## 12. メディア

### 12.1 大会前の連絡先

FIA WRCメディアデレゲート : **Sven GOOD** (スヴェン・グッド)

Mobile: +44 7780 949176

E-mail: [sgood@fia.com](mailto:sgood@fia.com)

Website: [www.fia.com](http://www.fia.com)

ナショナルプレスオフィサー:三浦正人

Mobile: +81 (0)90 3902 1555

E-mail: [masato-miura@rally-japan.jp](mailto:masato-miura@rally-japan.jp)

Website: <https://rally-japan.jp/en>

### 12.2 FIAパーマネントパス所持者

認定申請は不要ですが、FIAメディア担当者とナショナルプレスオフィサーの双方に対し、パス保持者がイベントに参加する意向があることを通知する必要があります。公式車検開始の少なくとも5日前までに、メールにてご連絡ください。

### 12.3 國際的な出版物、フォトグラファー、ラジオおよびインターネットメディア

国際的な出版物、写真家、ラジオ、ウェブサイトからのすべての取材申請は、5月11日(月)までに、FIA宛てに提出していただく必要があります。申請は、[www.fia.com](http://www.fia.com) のオンライン取材申請システムを利用し、記載された手順に従って行ってください。

### 12.4 テレビ

テレビ放送の取材許可申請については、放送局およびネットワークは5月18日(月曜日)までにWRCプロモーターまでご連絡ください:

[accreditation@wrc.com](mailto:accreditation@wrc.com)

## 12.5 国内出版物、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ局

国内の組織、ラジオ、ウェブサイトを代表する日本人の資格申請書は、3月28日(土)から5月11日(月)までにラリージャパン・ナショナルプレスオフィサー宛てに提出してください。ガイドラインと申請書はイベントウェブサイトで入手可能です。申請書と添付書類はオンラインで下記宛先までご提出ください。

: [media-rj@rally-japan.jp](mailto:media-rj@rally-japan.jp)

注記1: ウェブサイトメディアにはジャーナリスト・クレデンシャルが1名分のみ付与され、ウェブサイト写真家への認定は行われません。

注2:FORUM8ラリージャパン2026に出場するチームのメディア関係者は、WRCプロモーターを通じて申請してください:[accreditation@wrc.com](mailto:accreditation@wrc.com)

## 13. 医療・安全サービス

### 13.1 緊急電話番号

救急・消防: 119

警察: 110

### 13.2 医療サービス

愛知医科大学病院

愛知県長久手市岩作雁又1-1  
N35 11 29.4 E137 02 55.8

Tel: 0561 62 3311 [www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/](http://www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/)

岐阜大学医学部附属病院

岐阜県岐阜市柳戸1-1  
N35 28 06.9 E136 44 01.1

Tel: 058 230 6000 [www.hosp.gifu-u.ac.jp](http://www.hosp.gifu-u.ac.jp)

藤田医科大学病院

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98  
+0562 93 2355 <https://hospital.fujita-hu.ac.jp/>

### 13.3 契約サービス

リエゾン区間において利用されるレッカーサービスは、主催者の資源を用いて実施された場合であっても、競技者の負担となります。

ラリージャパン事務局が手配した保険に加入されている場合、サービスパークまでのレッカー移動は保険の対象となります。

ラリージャパン推奨のレッカーサービス提供会社は以下の通りです:

JAFロードサイドアシスタンス 電話:+0570 00 8139(コールセンター)

公式自動車保険契約者様向け 電話:+0120 096 991(コールセンター)

### 13.4 薬局(サービスパーク近隣のドラッグストア)

場所(GPS座標)	電話	営業時間
V.ドラッグ挙母店	0565 37 8855	9:00 - 21:00
スギ薬局陣中店	0565 85 8810	10:00 - 22:00
ドラッグスギヤマ 美里店	0565 87 1171	10:00 - 21:00
スギ薬局美里店	0565 87 3571	9:00 - 24:00
スギ薬局元宮店	0565 36 0160	9:00 - 22:00
ゲンキー御立店	050 1782 1100	9:00 - 21:00

## 14. 便利な情報

### 14.1 空港 - 中部国際空港(NGO)セントレア

愛知県には中部国際空港セントレアがあります。2026年1月現在、20~25の国際線と20の国内線を発着するアジアのハブ空港とされており、名古屋中心部から車で約40分、名鉄快速電車で30分未満の距離に位置しています。名鉄バスでは、中部国際空港と豊田市間を結ぶ空港バスも運行しています。詳細は下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.meitetsu-bus.co.jp/airport/toyota>

### 14.2 電車

名古屋は新幹線でのアクセスが便利な都市で、東京から約100分、大阪から約50分で到着いたします。名古屋駅から豊田スタジアム(豊田市駅)へのアクセスは、[豊田スタジアム公式サイト](#)をご覧ください。電車で約70~80分ほどかかります。

### 14.3 タイムゾーン

イベント期間中、ヨーロッパの時間はすべて中央ヨーロッパ夏時間(CEST、UTC+2)となります。これは日本時間より7時間遅れています。

日本では夏時間(サマータイム)は実施されておりません。

### 14.4 日の出／日没

4:41 / 18:58 (5月28日・豊田市)

### 14.5 天気(5月下旬 - 豊田市)

5月下旬の平均気温は20~21°C前後で、日中の最高気温は25~26°Cに達します。5月は通常10~11日程度の雨日があり、天候は概ね穏やかで初夏のような気候です。

### 14.6 通貨

通貨は日本円(JPY/¥)です。紙幣と硬貨は容易に識別できます。紙幣には1,000円、2,000円、5,000円、10,000円が、硬貨には1円、5円、10円、50円、100円、500円が流通しております。1月13日現在の為替レート:1ユーロ=約185円／1米ドル=約158円／1ポンド=約214円。

外貨は空港で日本円に両替されることをお勧めいたします。豊田市では豊田信用金庫本店で一部サービスをご利用いただけますが、手続きに時間を要する場合がございます。

### 14.7 税金

日本の消費税(標準税率)は10%です。酒類および飲食サービスを除く一部の食品に対する軽減税率は8%です。すべての価格表示には税込み総額を表示することが義務付けられていますが、実際には表示されていない場合があります。

### 14.8 チップ

日本ではチップを渡す習慣は一般的ではありません。

### 14.9 電気

日本で一般的に使用されている電圧は100ボルトで、愛知県の周波数は60Hzです。プラグはAタイプで、アメリカやカナダで使用されているものと同じです。

### 14.10 携帯電話

ほとんどの現代のスマートフォンは、日本で問題なく使用できます。ただし、非常に古い旧式の携帯電話は、日本のネットワークに対応していない可能性があることにご注意ください。日本では4G/LTEおよび5Gサービスが利用可能で、国際ローミングも広く提供されていますが、渡航前にご利用の携帯電話会社との互換性を確認することをお勧めします。

## 14.11 大使館

日本の外務省のウェブサイトを確認してください。

外務省: <https://www.mofa.go.jp/index.html>

大使館・領事館: [www.mofa.go.jp/about/emb\\_cons/over/index.html](http://www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html)

## 14.12 査証

2026年1月7日現在、日本は74の国・地域に対してビザ免除措置を実施しています。パスポートがビザ免除の対象となるかどうかは必ずご確認ください。ビザの申請が必要な場合は、最寄りの日本大使館・領事館にお問い合わせください。

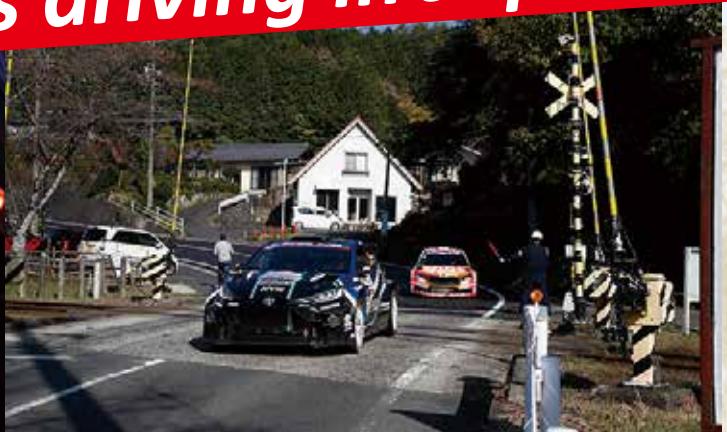
[Ministry of Foreign Affairs - Exemption of Visa](http://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/index.html)

[https://www.mofa.go.jp/j\\_info/visit/visa/index.html](http://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/index.html)



# WRC FORUM8 RALLY JAPAN

*For internationals driving in Japan.*



**Traffic rules differ from country to country. Please follow Japanese rules and drive safely.**

**Please use good manners so that motorsports can set an example of safe and exemplary driving or sightseeing of surrounding areas to meet your every needs.**

- Japan, like the UK and some other countries, drives **on the left side of the road**.
- You must come to a complete stop before the STOP line or sign.
- You must come to a complete stop and confirm safety before crossing railways.
- Where the **centre line is orange**, overtaking other cars on the right is strictly forbidden. Overtaking is also prohibited **within and in front of intersections**.
- In traffic jams, it is extremely dangerous to overtake a car ahead on the right (wrong-way driving). **NEVER DO IT!**
- Where there are no speed limit signs, the **maximum** speed is **60 km/h**.
- Remember that the traffic is not controlled for the SS sections during **reconnaissance**, and general drivers may be on roads as well.
- Using the **right turn lane to take the lead** at the traffic lights is prohibited.
- Driving through convenience store parking or petrol stations to **avoid a traffic light can cause complaints** from store owners.
- It is forbidden to park on the roadside strip **on the side of oncoming traffic**.
- **Toilet** locations are indicated **in the Road Books**. It's ILLEGAL to urinate in public!
- Rally cars do not hold any special privileges when driving on liaison sections. You are **not exempt from any legal rules or obligations**.
- You will be strictly **supervised** and **penalised** if any traffic violation is committed.



